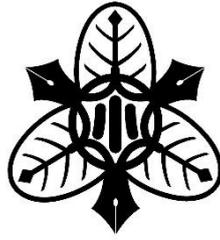


# 学校だより



## 学校教育目標

ふるさとを誇りとし、

夢や目標に向かって

主体的に考え行動する子供の育成

令和5年10月20日 第6号

文責： 校長 井 正成

## 1年間の折り返しを過ぎました ～充実の秋に～

10月も半ばを過ぎ、朝夕は涼しさというより寒さも感じる季節となりました。学校の方も1年の折り返しを過ぎ、学年の後半に入りました。

9月から10月にかけては、秋の爽やかな気候にも恵まれ、いろいろな体験活動（芋ほり、稲刈り等）や見学旅行を実施することができました。このような学校外での体験活動は子供たちにとって楽しみな活動であり、体験や見学を通して貴重な学びをすることができました。

また、これらの活動では地域の方や見学先の関係者など多くの方々に大変お世話になりました。また、阿蘇市にもバス代の補助など予算面で支援していただいています。いろいろな方のご協力に支えられて教育活動が行われていることに改めて感謝しなければならないと感じています。

2学期も残り2か月となりました。秋の気候の良いこの時期に、さらに教育活動を充実させ、子供たちに「生きる力」をつけたいと考えています。朝昼の寒暖差が大きく、体調を崩しやすいこの時期ですが、家庭での規則正しい生活、十分な睡眠や食事などで生活習慣を整え、子供たちを笑顔で学校に送り出していいただければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 阿蘇の草原で学ぶ ～4年生の草原学習～

9月22日（金）に4年生が草原学習を実施しました。この学習は4年生を対象に2013年からスタートして今年で11年目となり、内牧小の特色ある教育活動の一つとなっています。

阿蘇の草原は約1万3千年前、縄文時代から存在したといわれています。またこの草原は自然の力だけで維持されることは難しく、自然と人が共存しながら守られてきたものです。子供たちは、阿蘇の草原という環境を最大限に生かしながら生活してきた先人の知恵に学ぶとともに、その草原を維持してきた先人の努力で阿蘇の素晴らしい景観や自然が守られていることを、様々な学習や体験を通じて学ぶことができました。

草原学習では、次の3つの活動を行いました。

### ① 草泊まり体験

「草泊まり」とは、草刈りの期間中、採草地の近くで野営することです。内牧公民館、新町クラブなど協力者の皆様方にていねいにご指導いただき、草泊まりのための小屋を6つ完成させました。完成後は中に入って「草泊まり」を少しだけ体験しました。

### ② 動植物観察

「阿蘇グリーンストック」の木部さんに、阿蘇の草原でみられる動植物について観察しながら詳しく説明をしていただきました。また、新町クラブの湯浅さんには、放牧地に作られた土塁について説明していただきました。阿蘇の草原について知る機会にもなりましたが、阿蘇の草原の中を散策する心地よさも感じることができました。

### ③ 乗馬体験

「夢☆大地グリーンバレー」の梅木さんにご指導いただき、乗馬体験をしました。はじめに乗馬の基

本を教えていただき、その後、一人ずつ馬に乗って阿蘇の草原を散策しました。私も馬の賢さに感心しながら乗馬を楽しむ子供たちの様子を見守りました。子供たちからは「また乗ってみたい」という声がたくさん聞かれました。

私も、初めてこの「草原学習」に同行し、子供たちとともに3つの活動を間接的に体験をしました。改めてこの阿蘇がふるさとであることを誇らしく思うことができた一日でした。来年度以降も多くの子供たちに、この学習を通して阿蘇の素晴らしさを体感してもらえればいいなと感じました。

事前準備として行った「かや切り」「かや集め」に協力していただいた保護者の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。大変ありがとうございました。

## **第2回学校運営協議会で委員会活動について紹介しました**

本年度の第2回学校運営協議会を10月12日に実施しました。学校運営協議会は保護者や地域住民が学校運営に参画するための制度です。

今回の学校運営協議会では、児童会の委員会活動の委員長（6年生）が参加し、各委員会の取組について学校運営協議会委員の皆様を紹介しました。子供たちは、普段と違う雰囲気の中で緊張しつつも、学校をよりよくするために、考えて実行している活動内容を発表してくれました。それに対して、委員の皆様から子供たちへ貴重なアドバイスをいただきました。今回、いくつかご意見をいただいたことで、子供たちも今後の活動に対する意欲をさらに持つことができたのではないかと思います。

学校、家庭、地域、そして子供たちなど、学校にかかわるすべての人が目標を共有し、連携しあって内牧小をより良い学校にしていければと考えています。

## **安全ベストの正しい着用についてご協力をお願いいたします**

学校運営協議会の取組として、安全ベストの点検を行っています。マジックテープなどが劣化して、ベストを正しく着用できていない子供たちも多く見受けられます。安全ベストは、正しく着用することで、車からの発見も早くなり、事故防止に役立ちます。劣化している場合はご家庭で修復するなど、ご対応をお願いいたします（販売を含めた学校運営協議会からの案内をすでに配付しています）。安全ベストの正しい着用については、ご家庭でも子供たちへのご指導をよろしくお願いいたします。

## **子供さんの様子について気になることがあれば、早めに相談を**

子供たちが抱える悩みや不安、課題の解決のためには、早期発見、早期対応が基本になります。何か気になることがあったら、遠慮なく学校のほうにご相談ください。